

筑前左文字 の名刀

鎌倉時代末期から南北朝時代にかけて筑前国（現在の福岡県）博多に居住し活躍した刀工の左文字は、左衛門三郎の略と伝わる「左」の一字を銘に切ることから、古来その名で呼ばれてきた名工です。彼は従来の九州鍛冶の伝統であった、板目の流れた鍛え肌に向口の沈んだ直刃調の刃文を焼くという地味な作風から脱却し、地・刃ともに明るく冴えて洗練された作風へと劇的な転換を遂げました。その美しさと力強さを兼ね備えた作風は、安吉など多くの優れた門弟たちによって継承され、筑前鍛冶の黄金時代が築かれたのです。

本展覧会では、左文字の傑作として名高い《太刀 銘筑州住左（江雪左文字）》と《短刀 銘左／筑州住（太閤左文字）》（国宝・小松コレクション（ふくやま美術館寄託））を筆頭に、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康ら戦国の覇者たちの愛刀、米沢上杉家、筑前黒田家、宇和島伊達家など諸大名家に伝来した左文字の名刀が一堂に会します。あわせて先達である良西、入西、西蓮国吉、実阿をはじめ、門下の安吉、行弘、吉貞、国弘らの名品、そして室町時代から江戸時代に成立した刀絵図・古伝書などを加えた50点余りの作品と史料により、鎌倉時代から南北朝時代における筑前鍛冶の伝統と革新の様相に迫ります。



重文《太刀》銘 銘謙所西蓮 廣島神社蔵 ※～11月25日



重文《短刀》銘 国吉 福岡市博物館蔵



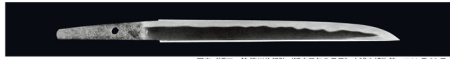
重美《太刀》銘 実阿作 佐野美術館蔵



国宝《短刀》銘 左／筑州住（太閤左文字）小松コレクション



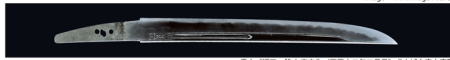
重文《短刀》銘 左／筑州住 京都国立博物館（永藤一コレクション）



国宝《短刀》銘 筑州住行弘／観応元年八月日 土浦市博物館 ※11月20日～



重文《短刀》銘 左安吉（名物一御安吉）東京国立博物館蔵
Image: TNM Image Archives



重文《短刀》銘 左安吉作／正平十二年二月日 犬山城白文庫蔵



重文《短刀》銘 国弘作 東雲神社蔵（愛媛県美術館寄託）
画像提供：松山市教育委員会

関連イベント

記念講演会「左とその一門」



講師：原田一敏（ふくやま美術館館長）
日時：11月24日（土）14:00～15:30（開場13:00）
定員：100名 当日先着順 ※聴講無料
会場：ふくやま美術館2階 講義室

ギャラリートーク

講師：当館担当学芸員
日時：11月18日（日）、12月1日（土） 各日14:00～15:00
会場：ふくやま美術館1階 企画展示室
※特別展観覧券が必要

巡回情報

刀剣博物館（東京都墨田区横綱一丁目12番9号）
会期：2019年11月12日（土）～2月11日（月・祝）
※一部展示作品が異なります。

同時開催	秋季所蔵品展「福田憲一——福生まれの歴史家——」 会期：2018年9月27日（木）-12月9日（日） 会場：ふくやま美術館2階 常設展示室 観覧料：一般300円 高校生以下無料 福田憲一（若き日の信長）1940年代	
特別展予告	「ぼくとわたしと みんなの tupera tupera 絵本の世界展」 会期：2019年1月20日（日）-3月24日（日） 「フンダ絵巻」(2013年 ©tupera tupera/絵本館)	



【交通案内】

- ・JR福山駅北口から西へ400m
- ・山陽自動車道 福山東インターから車で20分
- ・駐車場 68台（有料）

【お問い合わせ】ふくやま美術館
〒720-0067
広島県福山市西町二丁目4番3号
TEL: 084-932-2345 FAX: 084-932-2347
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-museum/>
Twitter: @fukuyama_bi